

IN-004: 温室効果ガス不使用絶縁開閉装置等の導入

【削減方法】

- 温室効果ガス不使用の絶縁開閉装置・遮断器を導入することにより、六フッ化硫黄 (SF6) ガスの使用量を削減する。

【適用条件】

- ① 温室効果ガス不使用の絶縁開閉装置・遮断器を導入すること。ただし、ベースラインの絶縁開閉装置・遮断器が温室効果ガス不使用である場合は除く。

【ベースライン 排出量の考え方】

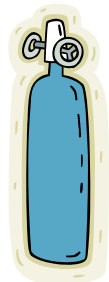
- プロジェクト実施後の絶縁能力(対応電圧・電流)を、プロジェクト実施後の温室効果ガス不使用の絶縁開閉装置・遮断器ではなく、ベースラインのSF6ガス使用絶縁開閉装置・遮断器で実現する場合に想定されるSF6排出量。

【主なモニタリング項目】

- プロジェクト実施前におけるSF6ガス充填量
- (更新プロジェクトの場合) 装置更新時におけるSF6ガスの回収量
- (更新プロジェクトの場合) 装置更新前後のSF6ガス封入部の圧力

【方法論のイメージ】

ベースライン



SF6ガス

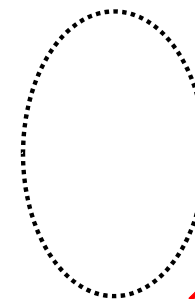
SF6充填



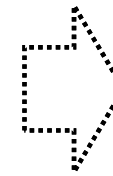
SF6使用装置



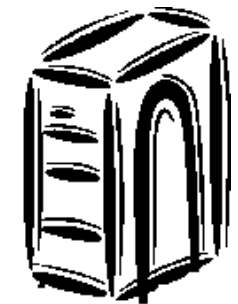
プロジェクト実施後



温室効果ガス
の充填不要



ベースラインより
SF6使用量が
削減される。



温室効果ガス
不使用装置